

# 常磐地区の市街地再生に向けて

今後、多くの地方都市では、急速な人口減少や高齢化の進行などにより、これまで、一定の人口密度により支えられている様々な生活サービスの提供が将来的に困難になると考えられています。

そのため、本市では、将来にわたり持続的なまちの発展に繋げるため、「第二次都市計画マスタープラン」及び「立地適正化計画」を策定し、一定の人口密度を維持しながら、魅力あるコンパクトなまちづくりを進めることとしています。

そのような中、常磐地区においては、観光入込客数の減少をはじめ、市街地の空洞化の進行や老朽化した公共施設への対応など、様々な問題を抱え、地域活力が低下している状況です。

そこで、将来ビジョンとなる「常磐地区市街地再生整備基本方針」を令和3年5月に策定し、共創の理念のもと、本方針に掲げた取り組みを進めながら、市街地再生の実現を目指すこととしています。

## 市街地再生整備基本方針

 目標（まちの再生に向けた将来ビジョン） 

駅周辺の再編と交流空間の創出による市街地の再生  
～「温泉」と「フラ」を活かしたにぎわい・交流の源泉づくり～

 方針（目標実現のための5つの方向性） 

方針1 多世代が集う交流拠点の整備

方針2 温泉とフラのまちの玄関口としての景観整備

方針3 商店街のにぎわい再生

方針4 温泉街の滞留拠点の形成

方針5 歩きたくなる沿道景観・道路空間の整備

各方針に掲げた取り組みに関する現在の検討状況は、市ホームページにてお知らせしています。

<http://www.city.iwaki.lg.jp/www/sp/contents/1599438023049/index.html>



### 募集

観光拠点である常磐地区の再生に向けたアイデアを募集します！！

温泉街や商店街の魅力UP、まちに来てもらう方法など、皆様のアイデアをお聞かせください！！アイデアは、メールまたはFAXにて下記連絡先までお願いします。

（募集期限：令和4年5月20日）

連絡先：いわき市役所 都市建設部 都市計画課 都市再生係

電話 0246-22-7513 FAX 0246-24-4306

メール toshikeikaku@city.iwaki.lg.jp

# 基本方針図

## 方針1

### 多世代が集う交流拠点の整備

交流拠点施設・駐車場の整備、駅前広場の再整備、土地区画整理事業による基盤整備 など

## 方針4

### 温泉街の滞留拠点の形成

支所敷地を活用した滞留拠点の形成（交流拠点への支所機能移転・集約後）

## 方針5

### 歩きたくなる沿道景観・道路空間の整備

温泉街における道路・沿道景観の整備および夜間景観づくり  
安全・快適な歩行者空間づくり など

## 方針2

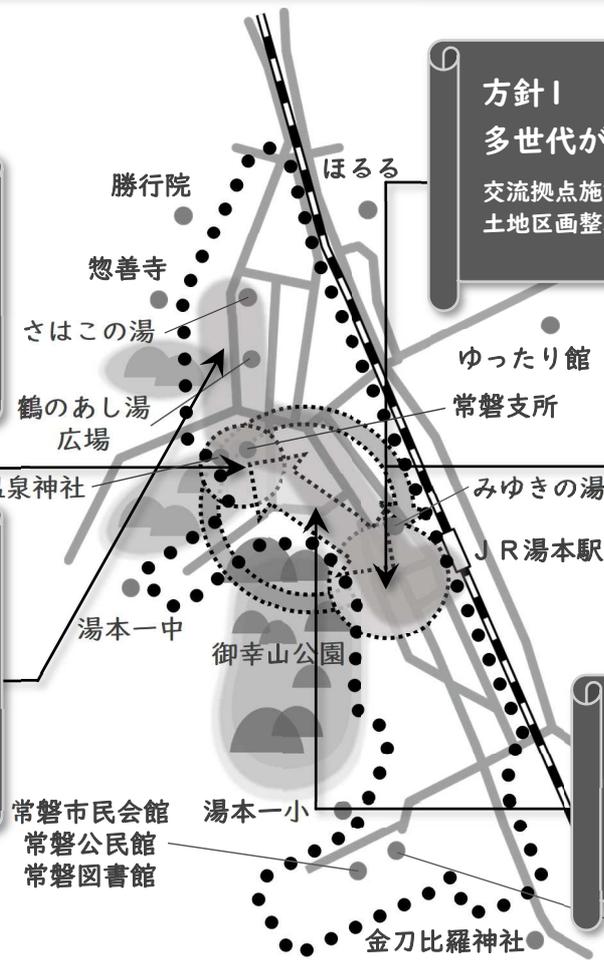
### 温泉とフラのまちの玄関口としての景観整備

湯本駅から御幸山公園までの道路などの景観整備  
駅前緑地や御幸山公園の再整備

## 方針3

### 商店街のにぎわい再生

空き店舗など遊休不動産の活用による魅力ある店舗づくり  
路上空間の活用による賑わいづくり



## 多世代が集う交流拠点の検討状況について

老朽化した公共施設は、新しい機能として再編することを検討しています。  
（対象施設：常磐支所、常磐市民会館、常磐公民館、常磐図書館、関船体育館）

整備にあたっては、民間のノウハウや資金を活用する公民連携事業の導入を検討することとしています。

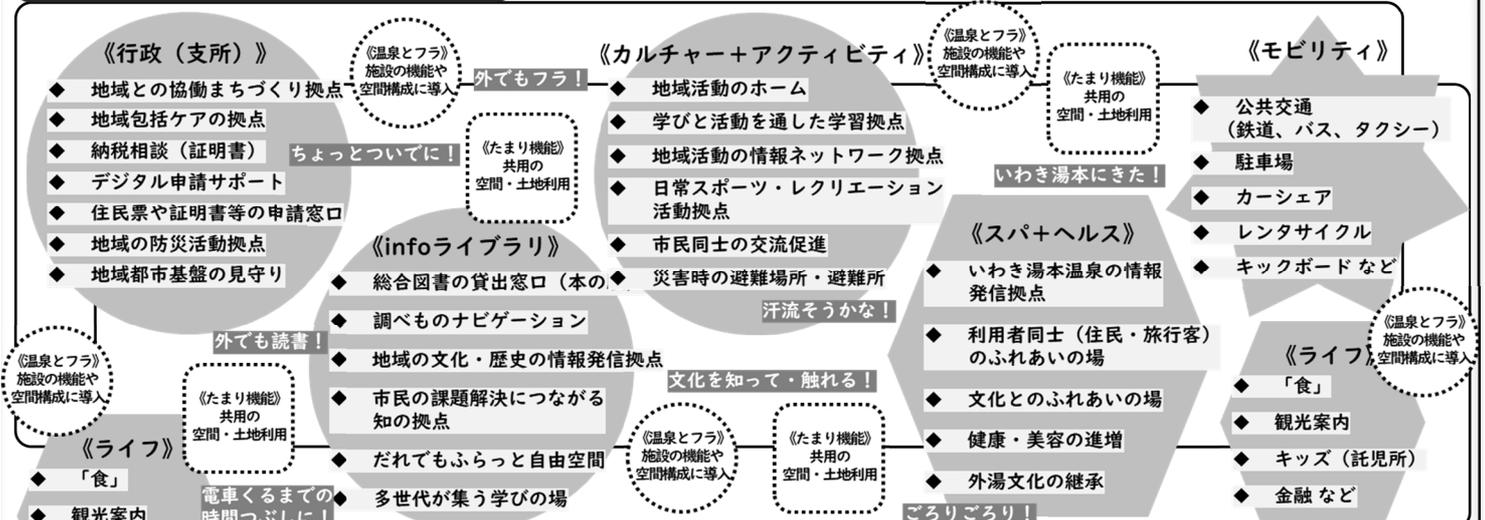
## < 交流拠点における導入機能イメージ >

## 3 まち庭 MACHINIWA

・共用の広場やアトリウム空間の「たまり場」を設け一体感の醸成  
・全体で居心地のよい、「まちなかの庭」と感じるような空間の形成

## 1 人のたまり場

・だれもが居心地がよく、ふらりと訪れたい場  
・市民と観光客の交流が生まれる場  
・市民の様々な活動を支え、また意欲をかき立てる場  
・市民が気負いすることなく、気軽に相談できる場  
・安全・安心な暮らしを支える場



## 2 情報のたまり場

・いわき湯本を魅せる場  
・市民が学び、観光客が地域の歴史・文化に触れられる場  
・新しい情報に出会えると期待がもてる場  
・本市のランドマークとなり、情報を発信し続ける場